

こんにちは 町長です Hello from the Mayor



高野 まさひろ

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

木々が色づき、秋もいよいよ深まりを見せる季節となりました。朝夕の冷え込みに、冬の気配を感じるようになりましたね。

秋は、町民まつりや運動会、そして発表会や文化祭など、町内のさまざまな行事が行われる季節です。青空の下で元気いっぱい走るこどもたち、ステージで真剣に歌う皆さん、地域の笑顔や拍手にふれると、松伏町のあたたかさにつながりをあらためて感じます。まちは、人の力で支えられているのだと実感しています。

「色づく」といえば、最近の私は山吹色(やまぶきいろ)のネクタイを身につけることが多くなりました。黄色とオレンジのあいだのような、あたたかく明るい色です。山吹色には「希望」や「実り」といった意味もあり、町の未来を前向きに育てていきたいという気持ちを込めています。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。どうぞお身体を大切に、心も体もあたたかくお過ごしください。

これからも、皆さんの暮らしのそばで、松伏町の明るい未来と一緒に描いていけたらうれしく思います。



松伏町消費生活センター 情報



テレビショッピングは電話で 注文内容をよく確認しましょう！

テレビショッピングの相談が全国で増えています。テレビ広告は映像や音声を後から見返すことが難しく、トラブルになる可能性があります。

【事例1】 母がテレビショッピングでマッサージ器を購入したが、叩く力が強く使えない。返品を申し出たが事業者に断られた。

【事例2】 父がテレビ広告で健康食品を見て電話で注文した。後日、2回目の商品が届き定期購入だと知った。

【事例3】 認知症の母がテレビショッピングで次々と注文し困っている。

消費生活センターからのアドバイス

- ・テレビ広告のイメージで判断せず、電話で商品・契約内容をよく確認しましょう。特に返品や解約について確かめることが重要です。
- ・テレビ広告では単品の販売でも、電話で注文する際に定期購入を勧められるケースがあります。契約条件を確かめ、定期購入が不要の場合は毅然と断りましょう。
- ・判断能力が低下し契約者自身が対処困難な場合は、家族から事業者へ相談するとともに成年後見制度の利用等も検討しましょう。

契約に不安に思うことがあれば消費生活センターにご相談ください。

1人で悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン 松伏町消費生活センター

188 局番なし 又は ☎984-7208



人権

それは 愛

人種差別

人種差別とは、顔の色のちがいで差別することだ。差別には、いろいろあると思う。たとえば黒人を見ただけでいやがったりじろじろ見たり指をさしたりしてふつうの人とはちがった行動をする。自分はいいかもしれないけどその人にとってはちがった行動をされるのは、とても悲しいと思う。きっとふつうの人と同じようにしてほしいと思っているだろう。

顔の色には三つの種類がある。黄色人・黒人・白人、日本人はその三つの中の黄色人である。日本に黒人が来ると日本人は、なんとなくいやがったりその黒人をさけるような歩きかたをする。顔の色が違うけど同じ人間なんだから、いやがったりさけるようなことはしてはいけない。それがもし白人であっても同じことだ。人種差別をするような人が外国に行ったときに、同じように差別されても、何とも言えないと思う。自分が差別しているのだから当然だと思う。黒人だって

白人だって好きでそういう色になったわけではなく、生まれた国によって顔の色がちがうだけのことです。国によって人の種類を分けて考えることが、まちがいだと思います。ぼくは黒人や白人に会っても日本人と変わらず気にせず過ごしているつもりだけど、心の中ではなんとなく特別な見かたをしてしまったりしていけないことだと反省しています。

この作文を書いて思ったことは、人種差別の人種とは人の種類をあらわしています。人を種類で分けることからして、よくないと思います。ぼくは人種という言葉がとてもきらいになりました。なぜかは、人の種類なんてもともたらないからです。差別をしないということは、黒人や白人を自然にふるまい日本人と同じようにすることです。そして黒人や白人は差別されても気にせずに、楽しく暮らせればいいと思います。

人権作文集～こころ～ より